



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

イラク：軍の準備状況についてのイラク参謀総長発言に対する反応 (14日付現地各紙)

8月14日付現地各紙は、11日のイラク軍参謀総長による米軍撤退を見据えたイラク軍の準備状況に関する発言への反応を報じている。

1. 国防省の反応（マシュリク紙）

- (1) ムハンマド・アル・アスカリー報道官は記者会見において、イラク軍は国内治安維持任務の移譲に完全な準備が出来ていると述べた。
- (2) アスカリー報道官によれば、ズィーバーリー・イラク軍参謀総長によるイラク軍には治安維持任務を引き継ぐだけの能力が無いとの発言の真意は、イラク軍の近隣国との交戦時における能力であり、国内治安任務の引継ぎを意図したものではない。

2. イラーキーヤの反応（マシュリク紙）

- (1) イラーキーヤは、外国軍撤退が間近であるにもかかわらず、イラク軍に治安維持を引き継ぐ準備がなされていないこと及び撤退後の空白を埋める方法に関し議論を行うための臨時国会の召集を求めた。
- (2) ハイダル・アル・ムッラー・イラーキーヤ報道官は、ズィーバーリー参謀総長の発言は、マーリキー首相の同状況に関わる発言が楽観的過ぎることを示すと述べた。ムッラー報道官によれば、イラク全土において治安状況の悪化が明らかになってきており、連日のようにイラク人が殺害されている事実はその証左であると述べた。

3. マーリキー首相発言（サバーハ紙）

- (1) 現場における治安機関の能力に依然として懸念は残るものの（米軍の完全撤退後に向けた）イラク軍の準備は十分と思われる。
- (2) 米軍からイラク治安機関（軍や警察）への任務の移譲は、最近始まったものではなく、かつて米軍が行っていた任務のいくつかは、すでにイラク治安機関が行っている。現在、イラクはその治安維持や主権の守護が可能なだけの装備や兵力を備え、訓練がなされた軍を有している。
- (3) 現在のイラクの国力は軍事力によるのではなく、民主主義やイラク国民の統一、戦闘経験等、物量だけではない精神、思想、教育上の価値から成り立っている。（サッダーム政権時のように）単純な軍事力だけでは、問題解決や治安維持は実現出来ない。
- (4) 今後、イラク軍兵士は町中ではテロリストと戦闘を行うだけでなく、行政サービスの向上や治安の安定化のための任務に就く。